

北栄町 幼保一元化施設概要 (案)

★町の方針

- ・教育と養護を一体にした就学前教育の充実を図る。
- ・0歳から就学前まで一貫した方針に基づく保育・教育を行う。
- ・園内研修などで職員全体の資質の向上を図る。
- ・発達支援は専門機関と連携し、個に応じた支援を充実する。
- ・子育て支援機能を充実し、地域の子育て拠点施設とする。

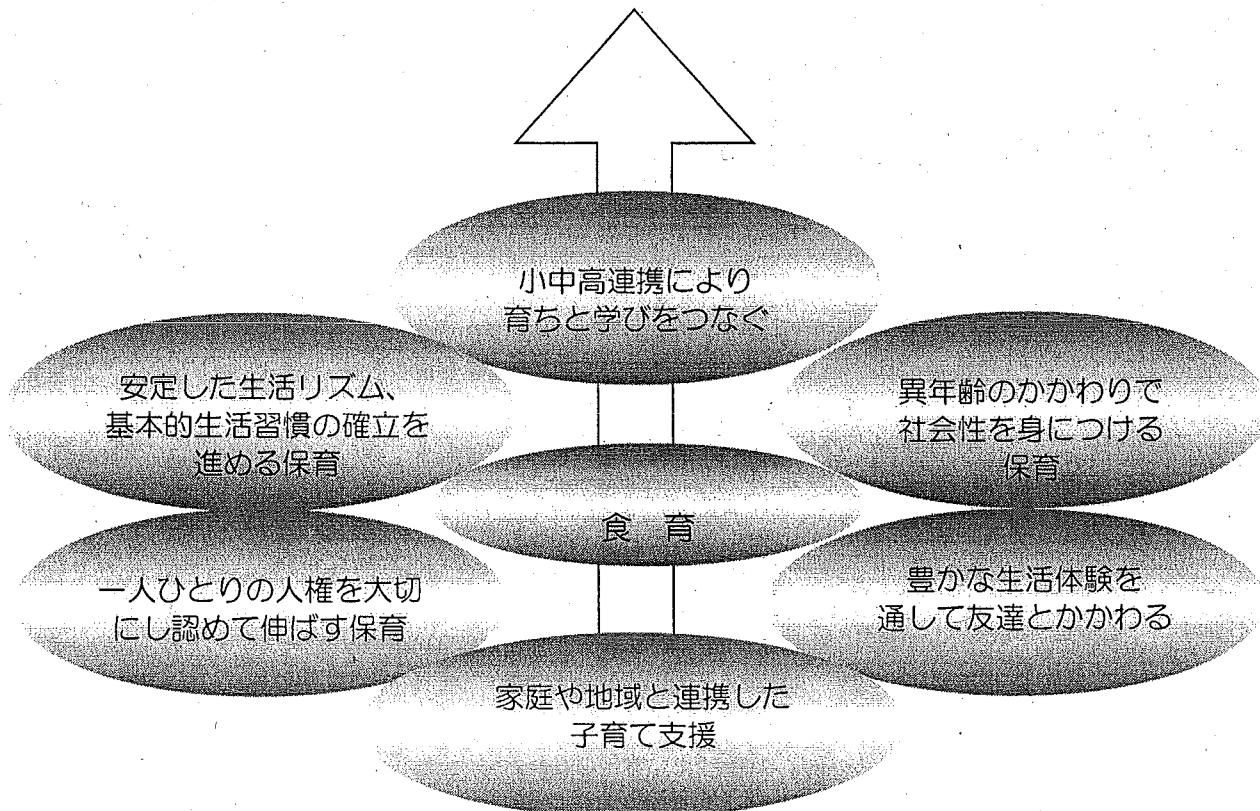
★保育・教育目標

- ・心身ともに健やかな子どもの育成

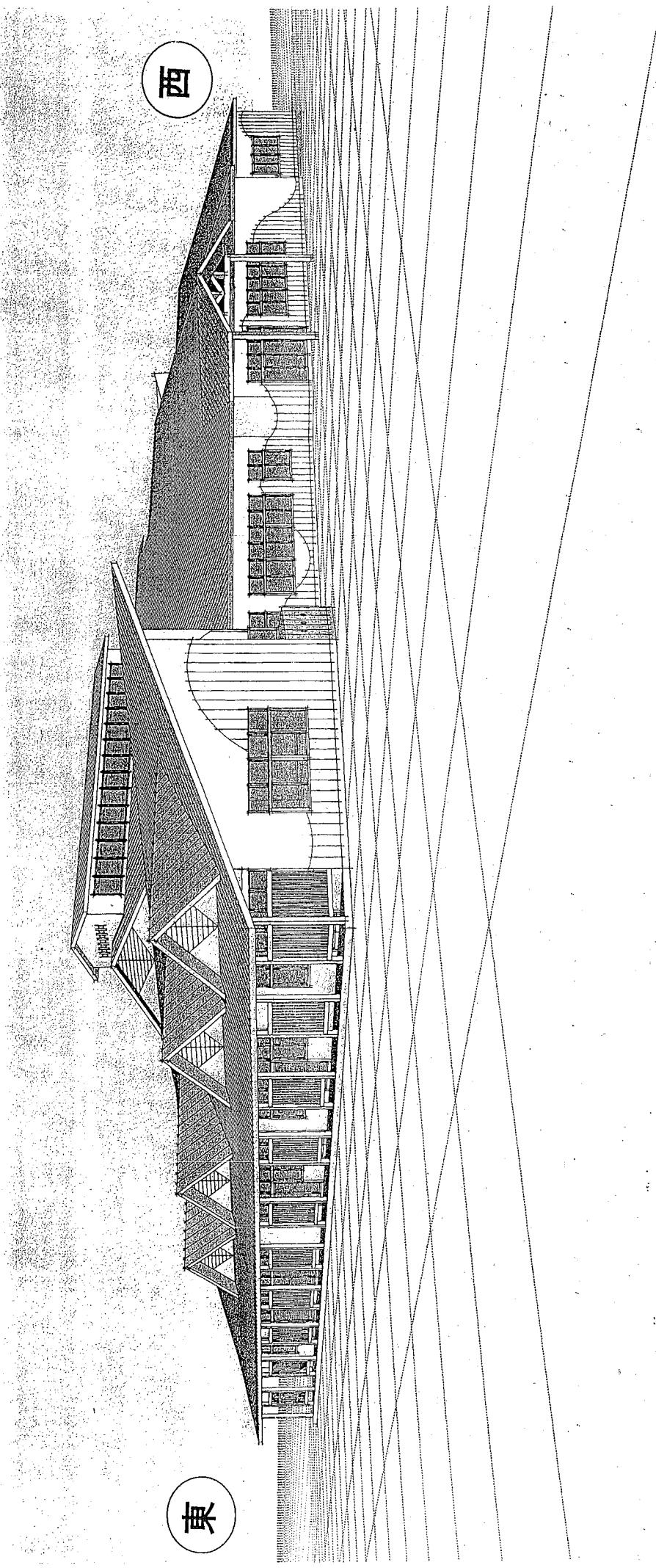
★めざす子ども像

- ・元気よくあいさつのできる子
- ・人にやさしくできる子
- ・ねばり強くチャレンジする子

心身ともに健やかな子どもの育成



北条地区幼保一元化施設イメージ図



県道から南西方向を望む

北条地区幼保一元化施設設計案

現北条幼稚園園舎を有効活用し、発達段階に応じた保育・教育環境が可能な施設を目指します。

■異年齢の子ども、保護者・地域の方との様々な交流・体験がしやすい施設

- * 異年齢の子どもたちの「縁のつながり」に配慮し、子どもたちが出会い、集いやすい施設中央に遊戯室を配置

- * 保育室・教室は連続した保育・教育を考慮した配置

- * 送迎時保護者と一緒に利用できる絵本コーナーの設置

- * 地域交流・行事においても様々な方が利用できる駐車場、広い運動場、遊戯室の確保

■健康・安全への配慮

- * 安全面・騒音・空気環境に配慮し、交通量の多い北側県道から距離のある施設配置

- *遊びの違う未満児・以上児が気にすることなく遊べるよう、遊戯室・園庭をそれぞれ設置

- *送迎時危険がないよう広い駐車場、歩道を確保

- *身体に障がいのある方、妊婦などに配慮し、玄関近くにバリアフリー駐車場を設置

- *来園者、登降園の状況が見え、不審者への対応も迅速にできるよう、県道側玄間に隣接した場所に事務室を配置

■木の温かみと肌触りが感じられる施設

- *既存園舎、新設園舎共子どもたちが触れる場所に県産材を多く利用

■自然の光・風に日常的に触れ、活動できる施設

- *子どもたちの使用する部屋は採光・通風・眺望に配慮し、全て南面または東面に面する配置

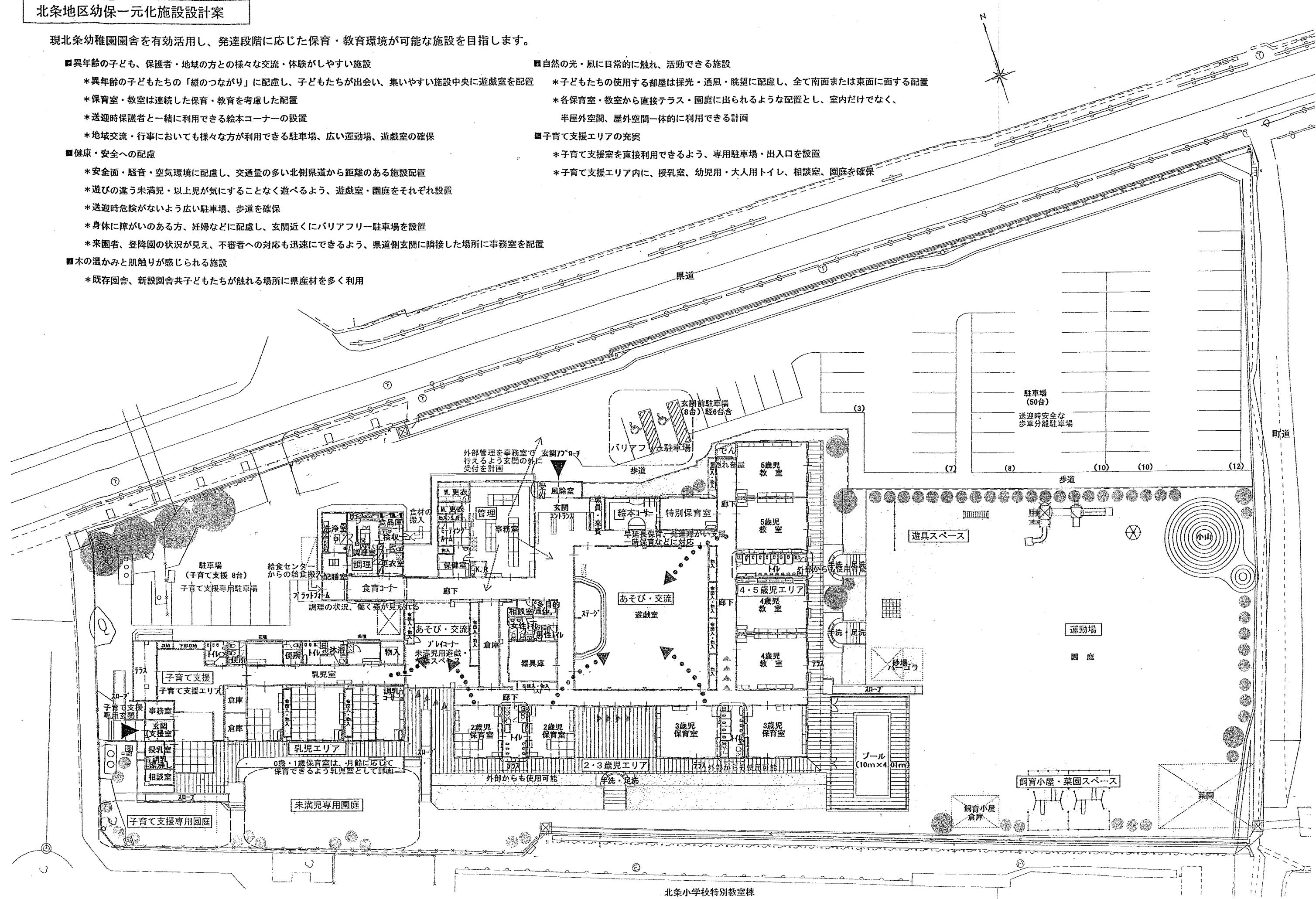
- *各保育室・教室から直接テラス・園庭に出られるような配置とし、室内だけではなく、

- 半屋外空間、屋外空間一体的に利用できる計画

■子育て支援エリアの充実

- *子育て支援室を直接利用できるよう、専用駐車場・出入口を設置

- *子育て支援エリア内に、授乳室、幼児用・大人用トイレ、相談室、園庭を確保



北条小学校特別教室棟